

# 令和4年度 学校評価について

JCHO 東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校

## 1. 学校運営評価

本校では、教育の質の向上を目指して、学校運営、教育全般について年度ごと評価を行い、その評価結果から更に充実した学校運営を図る検討を行います。

## 2. 評価方法と結果

### 1) 評価項目

文部科学省「学校評価ガイドライン」、「専修学校における学校評価ガイドライン」、私立専門学校等評価研究機構「評価基準 Ver.4.0」を参考に9項目の評価内容において56の評価内容について評価しています。

### 2) 評価方法

【自己評価】常勤の専任教員全員により自己評価を行います。

【学校関係者評価】本校が選任した、外部講師およびJCHOグループ関係者等の評価委員により、自己評価の結果について評価を行います。

【評価尺度】0：あてはまらない 1：一部あてはまる 2：概ねあてはまる 3：十分あてはまる

### 3) 結果（令和4年度） 評価内容の評定平均値（評価点数0～3点）

評価項目	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
評価内容	教育理念目的目標	教育課程	教授学習評価過程	組織管理運営	入学	卒業就職進学	地域社会貢献国際交流	教職員の育成	法令等の遵守
自己評価	2.88	2.75	2.81	2.83	2.88	2.42	2.51	2.10	2.92
学校関係者評価	2.56	2.80	2.42	2.70	2.50	2.44	2.44	2.42	3.00
具体的な取り組み	ディプロマポリシー達成に向け、教育活動を実施しています。教育理念や教育目標、ディプロマポリシーは、学生と理解を共有し、達成状況を評価して、教育活動の改善に繋がっていきます。	新カリキュラムがスタートし、新設科目を中心に教員間で指導方法の共有検討を実施しています。次年度は、それを更にブラッシュアップし、必要時は臨床看護師の協力も得ながら効果的な授業を検討・実施していきます。	全教員が関わる科目を中心に、教員間で授業内容・方法等を検討し指導しています。3年間の基礎教育と卒業後2年間の臨床研修により、看護師として専門的な実践ができるよう病院と共に支援していきます。成果・結果に対して、学生と教員の認識が一致できる指導と評価に取り組みます。	新校舎移転に伴い、学習環境の整備や防災訓練の実施、防災備品の整備等を行っています。附属の看護学校として、病院と協力し災害時の避難訓練やトリアージなどの実施ができるよう検討していきます。	学校案内、募集要項、ポスター、ホームページを活用した入試情報の公開や、Web同時開催のオープンスクールの継続により情報を発信しています。更に、広報やオープンスクールの充実、高校との関係づくりを強め、入学生の確保に努めていきます。	国家試験合格100%、母体病院への就職率80%以上を目標に指導をしています。病院と連携し、入学時から母体病院への意識や就職意欲を高められるよう取り組んでいます。ホームカミング日の継続や卒業生の状況把握を行い、卒業後も就職が継続できるよう支援していきます。	母体病院との共同企画(オレンジプラン)に取り組み、院内展示を通して地域の方々にも啓発活動を行っています。令和5年度は新たに、災害・防災の企画に参加します。地域清掃を継続しつつ、地域の方々と協力した防災訓練等の交流を検討していきます。	新カリキュラムに関する研修、母体病院が実施する研修会に各教員が参加しています。研修や学会参加により自己研鑽し教育活動意欲が高まるよう、また、参加しやすい体制の工夫をしていきます。演習や授業案、技術の検討を継続し、教員個々の指導力を高めていきます。	各種申請や報告は期日までに速やかに行い、法令に基づいた管理運営を行っています。ハラスメントに関しては、教職員、学生共に透明な環境づくりに取り組んでいきます。

